



R5 南城中

賢心の風

令和6年3月21日(木)
校報第11号
花巻市立南城中学校
〒025-0021 花巻市南城251
TEL 0198-23-4146
FAX 0198-23-4659
(文責 瀬川勝司)

90名の若鷹、南城中を巣立つ

3月13日に第70回卒業証書授与式を挙行了しました。花巻市教育委員会指導主事佐藤和美様、保護者の皆様、地域の皆様、南城小中学校区学校運営協議会委員の皆様のご出席をいただき、厳かで感動的な式を行うことができました。

最高学年となった今年、3年生は生徒会スローガンに「適(あつぱれ)自分を制し、未来を築く」を掲げ、「規律ある学校にしよう、思いやりを大切にしよう、協力して取り組もう」とリーダーシップを発揮し、全校を引っ張ってきました。

式では、進学、就職という新しい環境に進んでいくが、物事に関心を持ち、生涯をとおして学び続けてほしいこと、常に感謝の気持ちを持って多くの人と接してほしいこと、失敗を恐れず大いにチャレンジしてほしいことをお話しました。

文武両道を目指し、学習でも部活動でも、体育祭・南中祭でも話し合いを重ね、良いものを創り出そうとしてきた3年生でした。その校風が1,2年生に引き継がれ、最後の巣立ちの言葉や合唱が感動的なものとなりました。

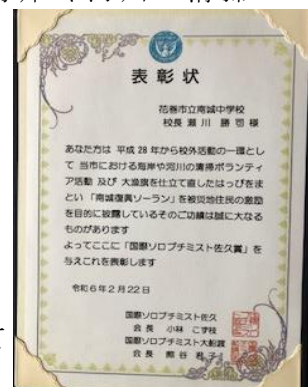
卒業生たちは4月から新たな環境に入っていきますが、ここ南城で学んだことを大いにいかし、自分がたてた夢や希望の実現のため邁進してほしいと願っています。



大船渡から感謝の言葉をいただきました 南中復興ソーラン

南城中では平成28年から継続して沿岸を訪問し、復興の現状を見学したり、海岸や河川の清掃ボランティア、南中復興ソーランの披露などを続けてきました。その取り組みにより、女性の奉仕活動団体、国際ソロプチミスト大船渡より本校が表彰されました。ソーランの指導者である伊藤正一さんと校長が表彰式に参加しましたが、ソロプチミストの会員の方から、「私も南城中の生徒さんの活動ぶりを実際に見ました。大船渡への、あるいは沿岸地域へ関心を持ち続けていたことがありがたい」という言葉をいただきました。

いわての復興教育は「いきる かかわる そなえる」ということを大事にしてきました。このことを風化させることなく次の世代に語り継ぎたいものだと考えています。春休み、2年生が南中復興ソーランの練習を開始しました。5月の体育祭に向けての取り組みです。令和6年度のソーランも楽しみにしたいと思います。



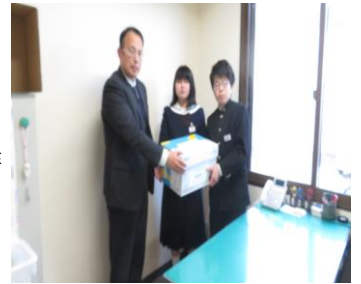


能登半島地震災害義援金に拠出 ご協力ありがとうございました

能登半島地震で被災された方々への支援と復興に役立てていただこうと、生徒会、イーハトーブ委員会が中心となって募金活動を行いました。報道などで伝えられる現状を見て自分たちで考え、行動した姿は素晴らしかったです。

全部で51,809円を集めることができました。代表生徒が花巻市共同募金委員会に持参しました。

被災地の一日も早い復旧と復興を心からお祈りしたいと思います。皆様のご協力、ありがとうございました。



後期生徒会で OSP の取組み

自分たちで学校生活を見つめより良いものにしていこうとする姿が見られます。「思いやりある言葉と行動の両方を意識していこう」と、OSP(おもいやりの花を咲かせようプロジェクト)が各学年で行われました。かけてもらったあたたかい言葉、配慮してもらった行動などを振り返りお互いに感謝しようという取組みでした。今後もこの気持ちを大切に、思いやりあふれる南城中にしていってほしいと願っています。

春休みになり、どの学年も進学、進級に向け充実した日々を過ごしていることと思います。2年生は特に、生徒会入会式や修学旅行、体育祭に向けての準備等をすすめています。お互い協力し合ってこの時期を過ごしてほしいと思います。



お世話になりました。定期人事異動で6名が異動します。

この度の定期人事異動で、6名が退職、転任となりましたのでお知らせします。保護者、地域の皆様にはこれまでたくさんのご支援、ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

(職名・氏名、在任期間、転任先を記載します。)

校長・瀬川勝司
教諭・柏木朋子
教諭・小林美和
教諭・西村公一
教諭・加賀秀一
校務員・三上義明

